明快新聞
明快志塾
個別指導学習塾
令和八年 九月十日発行
明快志塾 編集局

変わるきっかけ

今年の夏休みから大きく変わった生徒がいました。それまでにも何度も相談を重ねたり、本人にもいろいろなことを話して、自分自身が変わらなければ決して良い未来は開けないということを伝え続けてきたのですが、これまではほとんど何も変わることがありませんでした。それが、何があったのか今年の夏休みからガラリと変わったのです。夏期講習を始めるに際し、三者面談をして、今の課題について話をしました。また、宿題をギリギリになってから取り組むのをやめて、夏休みの間は授業の後居残りをして、それを終えてから帰宅するようにしたらどうかという提案もしました。これまでにも同様のことを話し、提案もしてきたのですが、それを実行することはありませんでした。それが夏期講習の初日の様子を見てみて驚きました。授業が終わった後、宿題を終えるまで居残りをしていったのです。次の授業の時に担当するアルバイトが「何があったんですか？」と聞いてきました。それまでの授業の様子と全く違い、出来栄えも格段に良くなっていたのです。本人に何が起こったのかはわかりませんが、変わった本人がそれを2学期になっても継続した上で、最初の試験で結果を出せると本当に良いと思います。そして、一度変わることが出来れば、その後はどんどん進化できるはずだと感じています。

意味が分からない言葉

少し前から、生徒たちの使う言葉に、雰囲気はよく伝わるけれど、どう考えても少しおかしな言葉がある。それは、「気付いたら寝てた」というものだ。言葉から考えると、気づいたら寝ていたということは、自分が気付いた時に自分自身が寝ていたということになるので、幽体離脱でもしていて、自分自身を自分が見ていたことになる。でも、伝えたい意味としては、起きた時に自分がそれまで寝ていたということに気付いたということだと思う。ま、そんなことはどうでもよいのだが、本来使うべき表現としては、「いつの間にか寝てた」ということになるのだろう。当塾でその言葉を使う生徒が多すぎて、あまり疑問に思っていなかったのだが、ふとそのおかしさに気が付いて考えてみた（笑）。でも、それだけ多くの生徒が使っているということは、ある意味その言葉は市民権を得ている（↑この表現も最近聞かない）のかも知れない。そしてそういう言葉の中で、さらに最近気になっているのが「他人事」という言葉の読み方だったりする。本来、「ひとごと」と読むのだが、最近ではそのまま「たにんごと」と読む人が多い。それは恐らく「自分事（じぶんごと）」という表現が出てきたからなのかもしれないし、そういう語彙がなくなって、意味通りに読んだ方が分かりやすいということなのかもしれない。それで、本来の読み方という知識をうかそういう形で授業が進身につけることは大切だと感じていたりする今日この頃だった。

ホミ

初めて担当した生徒のことをふと思い出した。教室の講師から「ホミ」と呼ばれていた生徒だった。何せ最初の授業だったのでこちらも緊張していたが、日本語が上手く通じない子だなぁと思ったのを思い出した。今ではいい経験値も増え、そういう子が何を伝えたいのかを何となくわかるようになったのだが、上手く通じない。それをホミの友人が通訳するように伝えてくれてようやく理解してもらえる、なんていう形で授業が進んだのだった。ホミの家は純粋な日本人の家系なのだが、確かにホミは「雰囲気」で言葉を使っている感じがした。突然教室に来たと思うと「10円、10円」と言って手を差し出してくるので、何かと思って尋ねると「10円頂戴ってこと！」↑どうして10円が必要なのかを言わないのだった。そんなホミのような生徒も最近では見かけなくなったが、彼女はもうアラフィフ…今頃どうしているのだろうか？

生徒の珍発言!?

先生「安土桃山時代と言えば
だれが思い浮かぶ？」
生徒「桃太郎！」
先生「実在しないし
『桃山』にしか反応してないし…」

お絵かきを
Tシャツにできます！
画伯の新作
お待ち
してます
名入れ雑貨専門店
チャージ高円寺
03-6794-8229

CRAFT BEER
&
CURRY
アンドビール
〒166-0002
東京都杉並区高円寺北
4丁目2−24
電話 080-5913-8241
https://www.facebook.com/andbeerkoenji

もつ焼き専門店
カッパ
モツの
希少部位が
オススメ！
是非ご堪能
ください♪
中野店　TEL：03-3388-1728
〒164-0001 中野区中野5-55-15　17時～22時30分　日曜・祝日定休日
荻窪本店　TEL：03-3392-5870
〒167-0043 杉並区上荻1-4-3　17時～23時　日曜・祝日定休日

やきとりの名門
秋吉
オススメは
「純けい」！
しっかりとした
鳥の旨味が堪りません！
＼ご予約お待ちしております！／
秋吉 中野店　TEL. 03-3385-0071
〒164-0001　東京都中野区中野5-54-3 藤田ビル1Ｆ